

ちょっと変わったまち茅ヶ崎より

- パート 1 茅ヶ崎の図書館 火葬場移転 南湖院の設備
ㄱ 2 フィッシュロード 純水館 ズドン文化
ㄱ 3 若松幹男先生
ㄱ 4 高田畊安と南湖院 高橋誠一
ㄱ 5 平塚雷鳥 小南さん
ㄱ 8 まぼろしのアールデコと松籟荘
ㄱ 12 明治三大冒険 シベリヤ横断 富士山気象観測
ㄱ 13 オッペケペー川上音二郎とマダム貞奴
ㄱ 15 廻船問屋 藤間柳庵
ㄱ 16 ウエルネーの林間学校
ㄱ 25 平民病院 加藤時次郎
ㄱ 27 コンゴ事件と清浦奎吾
ㄱ 28 市川猿之助と中国
ㄱ 35 家庭学校 留岡幸助
ㄱ 40 速水御舟
ㄱ 56 4 県の知事 清棲家教

徒然想

本紙三月号の記事中の、
「図書の出来たのには
「秘められた、大きな
想い」がその方々のな
に流れていた」とはど
ですかとの問がありました。
そう、明治四十年頃
の当時、村の中心にな
活躍していた壮年の人
胸に去来していたある
それはその人々が小学
時の出来事でした。
明治九年、茅ヶ崎小
の前身でありました
舎に若松幹男と言つた
おりました。この先生
「勉強ばかりが大事で
い、よく学び、よく遊
との方針で教育してい
た。当時の小学校は四
で学年試験はよその
ありました。
その試験に若松先生の
え子十三名はなんと全
第してしまつたのです
供達はちよつと遊び
のしょう。

ちよつと変わったまち茅ヶ崎
パート 3

神奈川 日本中国友好協会 常任理事
光南農場 代表取締役
岡崎 周



この時若松先生はこう決
断したので「子供達全員
が落第したのは、自分の
育方法に誤りがあったの
子供達をしてその親達に
し訳ない、その責任は自
にある、自分が全責任を
「殺してしまつたのです
生の三十三回忌が明治四十
一年に当たつていました。
その頃茅ヶ崎小学校で初
めての同窓会が開かれ集
た四十代の町の中心人物
して当時の若松先生のク
スの人達の胸には鮮烈な想
いが駆け巡つたのでし
「あ自分たちがもつと勉
強していたら恩師を死な
ずにすんだのに、なんと
う事をしてしまったのだ
う、悔やんでも、悔やん
も、悔やみ切れない想
抱いたことでしょう。
これが「人々のなかに流
れていた、秘められた、大
きなある想い」なのです。
そしてこの人々が起こした
行動が、自分たちの勉強
のための図書であり、高
科三年の設置であり、三
の小学校揃つての大講堂
設であり、そしてその姿
が續いてずっと後の市制
念に市立の高等学校（茅
崎高校）建設へと繋がつて
いつているようです。あ
頃市立高校を建てるのは
なら市立大学を建てる程
意気込みがなければ出来
事ではありません。
若松幹男先生の墓は南湖
の金剛院の中にあります。

徒然想

今十九万人に近付きつ
ある、皆様の住むこの茅
崎市も、わづか百年前そ
明治の中頃までは外から
人口数千の静かな、これ
いった特長のない平凡な
漁村にしか見えない村で
した。しかし歴史のページ
開いて内から眺めると、
民と新人の双方に男の
心意気が、魂の躍動が、
燃えた数々の出来事が見
てまいります。その幾つ
のサワリだけふれます。
今、ご年配の方が子供の
頃小学校には高等科とい
のがありました。大抵二年
でした。当時、茅ヶ崎の
辺でも二年でした。とこ
が、なぜか茅ヶ崎村だけ
三年だったのです。当時
から県への願ひ書に「村
の財政はキビシイです、し
しながら勉強したいの村
民の願ひ強くしかも遠く
は通えないので高等科三

ちよつと変わったまち茅ヶ崎

神奈川 日本中国友好協会 常任理事
光南農場 代表取締役
岡崎 周



でもなく学校で作つたので
もなく小学校同窓会会員の
為の図書館であり、運営は
いまの今後の発展は皆様
の手にあると思います。

徒然想

ラケの背に乗せられバ
ミル高原を越え、あの古
い唐の時代にすばらしい文
化をもたせたシルクロ
ード、天山山脈など見たいな
あーと話していた時、茅
崎の古者が首を傾げながら
「いや、茅ヶ崎に似た話、
気になる道があるんです
よ……」と話し出しました。
それがシルクロード（絹
の道）なのフィッシュロー
ド（魚の道）物語です。
茅ヶ崎の浜ではオイシイ
魚が沢山取れました。それ
を天秤棒で担いで、夕方か
ら相模川沿い夜通し走つて
何と中央線の八王子（四〇
kmも！）に到着き売って歩
きました。当時の八王子は
絹織物の集散地であり、江
戸と甲府、長野、京都等を
結ぶ中央道に沿ひ繁栄して
いました。集金などしながら
ら、頼まれた珍しい品物な
どを買い、又新しいニュー
ス等を仕入れ、それ等は翌

ちよつと変わったまち茅ヶ崎
PART 2

神奈川 日本中国友好協会 常任理事
光南農場 代表取締役
岡崎 周



であり、その一族の小山房
全さんが茅ヶ崎に作つた純
正の水館という織物工場は
とては大変珍しい、女工
を雇い、又新しいニュー
ス等を仕入れ、それ等は翌

徒然想

〇医学への熱き挑戦
明治の名医佐々木東洋の
香雲堂病院の目の前に、新
人高田研安が「東洋内科医
院」を開設し、物議をかも
し、新聞報道合戦となり、
若き高田氏が敢然と「……同
名の先哲の病院とは何等関
係なく……」との広告をだ
に及んで満都の話題をさら
う。そしてその医学の進歩
への挑戦が奇しくも、平塚
の香雲堂病院に対し相模川
をへだてた茅ヶ崎に壮大な
南湖院の開設となり、やが
て名実ともに東洋一の結核
療養所になっていきます。
〇あやなすえに
一人の著名人の家があつ
た。ただその人はよそで活
動し、やがて死んでいった。
それだけならばその土地
とは、ほとんど無縁でしよ
う（税金と観光バス以外に
は）。私が語りたいのは、
まったく異なつた部分です。
茅ヶ崎では多くのすづれ

ちよつと変わったまち茅ヶ崎
パート 4

神奈川 日本中国友好協会 常任理事
光南農場 代表取締役
岡崎 周



た人がおとすれてきては、
住民の土壌の中にはいり込
み、語りあい、刺戟を与え
時には論争し、そして共
なる活動を起こしました。そ
この部分をささやかな卒
なかで伝えたいのです。
さて仙合に二人の青年医
学者がおりました。彼は万
朝報の記事で南湖院を知
り、ハルバルと茅ヶ崎を訪
れ、その場で高田先生に採用
されます。この青年が後に副
院長となつた高橋誠一さん
です。高橋さんは高田研安
のえにの賜でしょう。

徒然想

明治の三大冒険と茅ヶ崎

永い間の鎖国時代から世...

我が町茅ヶ崎で言われた...

その一は白瀬中尉の南極...

白瀬中尉の名前は南極観...

ちよっと変ったまち茅ヶ崎

その三は空に向かっている...

我が町茅ヶ崎の東海岸にあ...

山頂の寒さで夫婦とも凍...

折から富士山頂は大暴風...

この野中さんの別荘も茅...



岡崎 周

徒然想

牛肉の町松阪で隣あった...

「いやあ茅ヶ崎でんか、...

どうやら茅ヶ崎にも近年...

元始女性は大層であった...

夏は避暑を兼ねて滞在した...

又雷鳥と奥村博士との有名...

ちよっと変ったまち茅ヶ崎

回りの新しい女性達の運動...

雷鳥、青鷲、そしてその...

「エボシは茅ヶ崎の、そ...

当時の男たちからみて...

「生命をかけて烏帽子岩を...

向へ活動している様です...



岡崎 周

徒然想

明治の始め軽妙なオッペ...

ケベール節で、時の政府の政...

三世をふうびた川上音二...

現在石組の井戸だけが...

自由な活気に満ちあふれ...

ちよっと変ったまち茅ヶ崎

音二郎はその後新演劇団...

アール・デコへの模索があり...

日本の版画（なんと日本...

大変興味深いのはフランス...

へ夜逃げし、そのフランス...



岡崎 周

徒然想

まほろしのアール・デコ...

海外からたった一枚の絵を...

その昔フランス等で始ま...

安くするため美術品を大...

後にアール・デコと言わ...

まほろしのアール・デコと...

ちよっと変ったまち茅ヶ崎

大正一四年（一九二五年）...

家具等はあまり多くありま...

立図書館の隣の旧松瀬荘...

アール・デコを吸収し、や...

現存するアール・デコ様...

アール・デコ様式を入念に...



岡崎 周

徒然想

日本国内を始め世界各地に激動の吹き荒れた平成元年は去り、新春は穏やかに暖かにオトソにゆらめいて

「湘南はいいなウグイスが聞こえそうだ。」「そろ耳だろ、オレはあのニュー」が気になって気分が出ない。「なんだ、いつもと逆みたいだな、まあ聞こう」「ほら日本人がハワイ中の別荘を買占めている、アメリカ本土でもロックヘラーのビルを買ったりニューヨーク中のめばいビルをかたっぱしから買占めて現地の人を追出してあるってニュー」スよ、気持ち悪い話さ、それに向うのウワサじゃあ日本人は皆大きなトランクに札束ギョウ詰にしてかついで歩いてる、日本の国の中で、もう家の中もビルも札束で溢れている、とうとう

ちよっと変わったまち茅ヶ崎 パート 25

神奈川県日本中国友好協会常任理事
光南農場 代表取締役
岡崎 周



この様な事を突然書出したのは実はある理由がある。それは今から七十年以上も昔の事です。当時病気になる医者、薬代金は高かった、金持ちは病気になるのも困らないが、庶民が病気になるれば子供の身売り一家離散にせまられる。それは当り前と思われていた、しかしある時それは上海チブス等が大流行して庶民がバタバタ死んでいくのをしった時だったのかもしれないが、茅ヶ崎の別荘に住む福岡県出身の医師加治時次郎氏（養子だったので加藤時次郎ともいいました）が鈴木梅四郎という方と一緒に敢然として立上がり日本で始めての平民病院を設立しました。実質診療所であり、無料ではありませんが治療代をとるでもなくしました。

徒然想

暖かな正月オトソのやりのさなかに、茅ヶ崎は変わった町と言うが温泉は無いだろう、と難題をもちかけられた。

温泉か、そりゃあ無理だ、いや待て茅ヶ崎に柳島温泉と云うのがあったっけ、ホントか、ホントの話さ、あれは確か柳島の藤間柳庵と云う名主が三年がかりで庭を掘ったなんと身の丈ほど噴き上げたそうさ。

もともと温度は低かったからまあ鉱泉さ、それでも火傷やら皮膚病に利くことあって湯治客が集まるようになったので、柳島温泉とか藤間温泉とか言われて評判になりました。掘ったのは今から一三〇年も前ですが、その後残念なことには例の関東大震災で湧出量が激減してしまい、それでも細々と続いていました戦争中の燃料不足で廃止してしまっただけの事です。

ちよっと変わったまち茅ヶ崎 パート 15

神奈川県日本中国友好協会常任理事
光南農場 代表取締役
岡崎 周



（二二〇km）の海上を行き来してありました。藤間柳庵さんは船主であり廻船問屋でしたので船を通して花のお江戸や京大阪の最新ニュースやら文物が伝わって来ました。又この

所でこの柳島にはエンコロ節という唄謡があり「船はしろがね、ろはこがね花のお江戸へ日よりよく」と歌われたように柳島には港があり当時三〇〇石船とか四〇〇石船とか大きな帆船が花のお江戸へ三〇里

柳島付近から前に書きましただけに新鮮な魚が夜道を八王子へと運ばれ帰りに甲州街道の最新ニュースが伝わるフィッシュロードがあり藤間柳庵さんも諸亭に秀でておられ貴重な記録も沢山残しておられる方でしたので三拍子も四拍子もそろって柳島付近は茅ヶ崎にとって当時大変な文化圏を形成していたと思われま

当時の記録を一つ載せます、ペリーが黒船四艘を率いて浦賀に来た「大平の眠りをさますジョウセン」た四杯で夜も寝られず」と日本中大騒ぎとなりましたのは嘉永六年一八五三年ですが、その七年も前弘化三年一八四六年に柳島沖一里（四キロ）に黒船二艘を発見し茅ヶ崎中の人々がその「黒煙をはき山が動き、城が海を走る、巨大な怪物」の姿を身近に見て仰天し同時に、世界情勢の中の日本の立場、日本の将来に身震いしながら考えさせられたのです。日本中が驚く七年

も前の事です。この時の黒船はアメリカ東インド艦隊司令官ピットルの率いる軍艦二艘でした。

徒然想

「おれの姪がベルギーでダイヤを買われてホクホクしている、砂粒位なのにさ」

「おれの姪がベルギーでダイヤを買われてホクホクしている、砂粒位なのにさ」とばされたのがいた。「熱海の海岸だろ、おれだって知っている」「そうさ、だから熱海はベルギーと友好都市になって日本一のダイヤモンド都市になれる資格がある」「なんだ今日は熱海の話か」「いや茅ヶ崎に似た話がある、そのダイヤの産地が原因でベルギーの王様にけつとばされた大臣がいた」「そいつは規模がでかい国際紛争だ、なんならおれの腕貸そう」「いやもうおそい、所で金剛石は知ってるだろ」「ダイヤモンドだろ、まて茅ヶ崎に金剛院でえのがあったっけ、あそこは金剛石といふ」「まてつかえんじやあねえよ、だけど金剛と寺

ちよっと変わったまち茅ヶ崎 パート 27

神奈川県日本中国友好協会常任理事
光南農場 代表取締役
岡崎 周



は関係ある」ダイヤは堅いから金剛石という、同時にダイヤの輝きは又全てに勝る。そこで仏教の中の密教では仏の知徳が全ての煩惱を打砕く力があり同時に、み仏の永遠の輝きを現して金剛と言う用語がある。

徒然想

川は戦いの名所でもあります。勝敗を決するその大事な時に、水鳥の羽音に驚いて総崩れをおこした黄瀬川の戦い、そしてまた一〇

年戦争の結着の場として、両雄が対決する川中島の名場面は「べんせいしゅくしゅく夜かを渡る」の詩吟と共に名高い。

平塚と茅ヶ崎の間を流れる相模川も明治に、ある対決の場として登場します。それは人を殺しあう戦いの場ではなく、人を生かす為の平和の戦いの場としてのです。

「おい早く話せ」そう、前に「医学への熱き挑戦」として一すふれましたが、東京神田で先輩名医に敢然と医学の挑戦を開始した若き高田耕安が、その決戦の場として選んだのが、その挑戦であり、当時の平塚茅ヶ崎の志ある村民は感動を先哲の経営する名高い平塚の杏雲堂病院に対し、相模川を隔てた砂原、南湖でし

ちよっと変わったまち茅ヶ崎 パート 16

神奈川県日本中国友好協会常任理事
光南農場 代表取締役
岡崎 周



武者の姿でありました。そしてその戦いは、人生かすの、近代医学への挑戦であり、当時の平塚茅ヶ崎の志ある村民は感動を先哲の経営する名高い平塚の杏雲堂病院に対し、相模川を隔てた砂原、南湖でし

た。南湖に十五万ヘーベを超える広大な土地を求め高田耕安は近代医学施設をととのえた、南湖院というサナトリウムを開設しますが、そこにかかる氏の情熱はまさに決戦に臨むりし若

の変わった動きが始まります。南湖院はすばらしい病院だ、だが施設が良いだけに治療費もそれなりに高い（当然ですが）従って貧乏な人は入りたくても入れな

このうわさを聞いて南湖院が行動を起こします。副院長林止氏たちが立上がり結核の施設事業として社団法人白十字会を創立し健康教育を主眼とした、林間学校というものを建てます。場所は茅ヶ崎の西の端の南湖院に対し東の端、藤沢よりです。

かくして私達の町茅ヶ崎には難病結核に対し、大人を主とした高級なサナトリウムと、結核予防として子供の為の費用の安い健康施設が東西で同時進行し、しかも両方が同じ方々の手で運営されるといった、極めて珍しい事態となります。それはこの方々の心に、営利を越えた、素晴らしい理念と燃える行動力が存在していたからでしょう。因みにこの林間学校はフランスのウエルネの戸外学校理念に学び日本最初の施設だったのです。

徒然想

今年の春は選挙で忙しかつた。「うんゆつくり花見もできなかった、飲みたらない。」海はキラキラ輝き温かい砂浜には古びた漁船が放り出されそのむこうに箱根連山が広がっていた。「うんきいれだ昔と変わらねえ、しかしあの木の船は亡くなるぜ、お前さんはあいつの欲しいんだろ」「図星だよ、みごとに美しい、船というよりあれは芸術品だよ、どうだい、あんた二人で担いで帰ろうかい」「おどかさなよ、二人じゃあ担いだとたんに砂にめりこんで死ぬわい」しょうがない、ではあの船はあきらめて今日は船の話だけしよう。「安心したぜ」この魚港に着く一小时前、大謀通りに御舟(ぎょしゅ)という家があったのを知ってるかい「聞いたよう

ちよつと変ったまち茅ヶ崎 パート④

神奈川県日本中国友好協会常任理事 光南農場 代表取締役

岡崎 周



「はやみぎよしゅう」はもつと遠った面で活躍した、彼は画の中に理論を入れた、おれもその切手を一枚買っ見てみたくなった「そいつわいい、ついでにあの船担いで帰らないかい。

徒然想

「急に秋が深まった。食欲の秋だ」うれしそうだが何かあったのかい「お前新湯の友達とどこに遊びに行ってきた、そしたらあいつ越ヒカリを送るといった、越ヒカリで茅ヶ崎のあの「おいした小株」を食ったらこたえられねえ」それはうまさうまそうだった「うまさうまとは変な感想だが、そのお前さんの目に焼けている新湯平野は茅ヶ崎に深い縁がある「お、面白そう、茅ヶ崎のさつまいもを新湯に植えたならあまりの寒さに、凍りついて越ヒカリになったとか」やめなよ、まあ真面目に聞きなよ。時は明治四二年、その頃

ちよつと変ったまち茅ヶ崎 パート⑤

神奈川県日本中国友好協会常任理事 光南農場 代表取締役

岡崎 周



は日露戦争の後なのでまだ財政厳しいとき新湯の寺泊町で分水工事の起工式が行われた。これは徳川時代からの宿願で新湯民の悲願だった。この大事業に熱心に取組んだ第一二代新湯知事が清棲家さんで茅ヶ崎に別荘があったのだ。さて清棲さんは三五才明治三〇年に山梨県知事となり、翌年には茨城県知事を一年やり、その後明治三六

徒然想

「車窓からは見渡す限り美しい菜の花畑が走れども走れども続いており、うっとり、みはれていた」。「おいおいそんなことあったかいな、見にゆきたい」いやあ上海から南京の郊外の公園に植樹に通っている。その車内で茅ヶ崎に縁の深い話を聞いた。京劇と云うのを知っているかい? 「ウン、顔に黒や赤や青やらの隈取りをやらした芝居だろ」。

ちよつと変ったまち茅ヶ崎 パート②

神奈川県日本中国友好協会常任理事 光南農場 代表取締役

岡崎 周



十五年前で、いわゆる国交回復のはるか前の話なのさ。この時日本代表の芸術使節になったのが市川猿之助一隊だった。所で市川猿之助は知っているかい。「そりゃあ有名だもん、奥さんはたしか高杉早苗だろ、まてよそれな

徒然想

「おい又松が切られてい」うん、松がさびしうだ、仲間がどんと減っている、あの松達には茅ヶ崎の歴史と文化を知っているから、そう、あの家庭学校の屋根が空高く列車よりも速く妖怪の様に前の田まで飛んでいったのも見てただろうよ「なんだそりゃあ」そう、今日は南湖の松の追想話をしよう。松は知る孤高の調べを! 明治三十二年に茅ヶ崎に南湖院が開設された、その同じ年に東京は東横で校長一人教頭一人、そして生徒一人という兆ミニ学校が始まった。校長は言った「こ

ちよつと変ったまち茅ヶ崎 パート③

神奈川県日本中国友好協会常任理事 光南農場 代表取締役

岡崎 周



は昭和七年の巻で屋根を吹飛ばされ、留岡幸助の病を癒したのが茅ヶ崎の南湖院の隣地、現在の西浜小学校のあたりだった。ここに「おやなんか聞いた名前だ」そう、前に書いた三村合併の時の大騒動、明治合併大騒動の時伊藤内務省の役人がこの留岡幸助氏だった、クリスチャンであり社会福祉事業に終生情熱を捧げ尽くした素晴らしい人だった。東京で一〇